



震災復興支援のCD

今年1月7日、いわき市の小名浜公民館で、「私の子どもたちへ」と題したライブレコーディングコンサートが

開かれました。そのCDが完成し、3月11日に発売になりました。

この中から1曲、「よみがえれ浜通り」という歌を紹介します。あわせて、盲目の百姓である作者・ヒューマンファーマーズの北嶋誠さんが歌にそえた一文を抜き書きます。

*

当事者のことは当事者にしか分からないだろうと思うのです。多くの被災者ごとにそれぞれその思いがあるでしょう。悲しみや苦しみを分かち合うことも、頑張れと励ますことも、さも分かったように書くことには躊躇してしまうのです。

このような考えは、私の視覚障害

者としての体験からくることなのかもしれません。ただ、私には私の思いがあります。当事者のことを分かって分からなくても、分かって努力しながら、私自身の思いだけは伝えたかったのです。

この歌は友人たちのふるさとである浜通りの復興を、ただ心から願ったものです。詞の中で「海が押し寄せてきた」「水田は海の底」「原子の灰に故郷を奪われた」などの表現は、被災者の言葉をそのまま使ったものです。

*

CDは1枚1000円です。9曲が収録されています。すずき産地でも扱っていますので、ご用命くださいませ。

また、きたる4月1日に、東海原発のすぐそば笠松運動公園で開かれる「さよなら原発4.1 いばらき大集会」にはヒューマンファーマーズも出演予定とか。ふるってご参加ください。



「よみがえれ浜通り」

作詞・作曲 北嶋 誠

- (1) 大地は荒れ狂い 海が押し寄せてきた
思い出の小学校が 波にのみれていった
恋も友情も 働く人たちも
平凡な日常が みんな消えてしまった

※ 夢をおいかけた
あの日に帰れない
それでもここで 生きて行く
よみがえれ 浜通り

- (2) 牛馬が草を食み 彩る野菜畑
暮らしを支えてきた 水田は海の底
漁船は沖に向かい 魚が群れていた
にぎわっていた魚市場に 今は人影もない

※

- (3) 阿武隈山地から いわき七浜まで
相馬の田んぼから 小名浜の港まで
家族を引き裂かれ 友だちもなくなり
原子の灰に 故郷を奪われた

※